



こやま たつや

小山 達也 助教(管理栄養士) 奈良県出身

【担当科目】

情報社会と対人援助、ヘルスケアマネジメント実習

【補助科目】

解剖生理学実験Ⅰ、公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ
、給食経営管理臨地実習、臨床栄養学実習Ⅱ

【主な研究内容】

- 食事(評価)学:地域に暮らす人々が、何をどのくらい食べているのかを調べる方法と、食べている量が適切であるかを調べる方法について探索し、望ましい食事とは何かを明らかにしたいと思っています。その中で、日本食標準成分表の活用方法、栄養価計算の方法、日本人の食事摂取基準の活用方法について検討しています。
- 望ましい食事の1つとして、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事に着目し、その評価方法を研究しています。
- 青森県東北町の行政栄養士の方と共同で、東北町の栄養改善に向けて何ができるのかを検討・実施・評価しています。
- 統計教育(大学生や栄養士向けに統計について講義をしています)。統計の考え方、活用方法をどのように伝えれば、わかりやすいのか、統計を使ってみよう、統計が使えるようになるのかを模索しています。
- 食事の地域差を定量的に評価する方法を模索しています。

【高校生へのメッセージ】

- 科学的根拠に基づいて、日本人の望ましい食事とは何か、一緒に考えてみませんか。
- 自分が食べている食事について、社会的な視点で考えてみてはいかがでしょうか。

